

授業科目(ナンバリング)	レクリエーション活動研究 (CC305)			担当教員	熊谷 賢哉		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講義では、レクリエーションの現代的意義を把握した上で、レクリエーション活動援助の理論およびその方法を習得することを目的とする。対象者が毎日を楽しく過ごすために、援助専門職としてのレクリエーション活動援助技術を習得していく。							②④⑤⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法		評価比率
専門力	<ul style="list-style-type: none"> ・レク財として行うニュースポーツについて理解することができる。 ・レクリエーションの現代的意義を理解した上で、レクリエーション活動援助の理論および方法を習得することができる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート ・定期試験 		15% 30%
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッションにおいて、自分の意見を主張し、他人の意見を聞き入れ、最終的に一つの意見にまとめる能力を身につけることができる。 ・グループレクリエーション活動援助を計画 (planning) し、実施 (implementation) することができる 				<ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッション ・実技 (グループレクリエーション活動援助を計画し、実施する) 		25% 30%
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>グループディスカッションにおいて自分の意見を主張し、他人の意見を聞き入れ、最終的に一つの意見にまとめる能力が身についているかを評価する (25%)。実技 (30%) では、グループレクリエーション活動援助を計画でき (10%)、そして、実施できているか (20%) を評価する。課題レポートでは、授業でレク材として行うニュースポーツ (3 種目) について、その歴史、用具、ルール等が把握できているかを評価する (15%)。定期試験では、レクリエーションの現代的意義を理解した上で、レクリエーション活動援助の理論および方法を習得することができたかを評価する (30%)。課題レポートについては、提出した翌週の授業において、その内容に関する解説を行う。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>学生にテーマ毎にプリントを配布。そのプリントに沿ってパワーポイントを用いて授業を行う。また、5~10 人くらいのグループでレクリエーションを実践したり、レクリエーション活動援助を実践したりする場合もある (グループワーク)。更に、5 コマはレクリエーション活動 (実技) を実際に行う。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：特に指定しない 参考書：『福祉レクリエーション総論』(福祉レクリエーションシリーズ) 指定図書：『福祉レクリエーション総論』(福祉レクリエーションシリーズ)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>積極的に授業に参加し、主体的に学んでください。特にグループワークでは、積極的に自分の意見や考えを述べ、ディスカッションを盛り上げていってほしい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 授業の内容・展開方法、試験の方法、評価の方法等に関する説明 アイスブレーキング 	<p>予習：シラバスに目を通しておく</p> <p>復習：授業中行ったアイスブレーキングを行ってみる。</p>
2	レクリエーションとは？(1)	<ul style="list-style-type: none"> アイスブレーキング レクリエーションについて考える（グループワーク） 	<p>復習：各グループで議論したレクリエーションに対する考え方をまとめる。</p>
3	レクリエーションとは？(2)	<ul style="list-style-type: none"> アイスブレーキング レクリエーションの語源、歴史、意義について（講義） 	<p>復習：レクリエーションの語源、歴史、意義について把握する。</p>
4	レクリエーション(実技)	<ul style="list-style-type: none"> インディアカ（体育館にて実技） インディアカについて（レポート課題） 	<p>予習：インディアカについて調べてくる。</p> <p>復習：インディアカについてレポートをまとめる。</p>
5	指導と援助について	<ul style="list-style-type: none"> アイスブレーキング 指導と援助の違いについて考える（グループワーク） 	<p>復習：各グループで議論した指導と援助の違いに対する考え方をまとめる。</p>
6	レクリエーション(実技)	<ul style="list-style-type: none"> ターゲットバードゴルフ（グラウンドにて実技） ターゲットバードゴルフについて（レポート課題） 	<p>予習：ターゲットバードゴルフについて調べてくる。</p> <p>復習：ターゲットバードゴルフについてレポートにまとめる。</p>
7	レクリエーション財の理解	<ul style="list-style-type: none"> アイスブレーキング レクリエーション財の考え方について（講義） 	<p>復習：レクリエーション財の考え方について把握する。</p>
8	レクリエーション(実技)	<p>すき焼きジャンケン（教室にてレク財の作成およびレク活動）</p>	<p>復習：すき焼きジャンケンの「楽しみ要素」が何かについてまとめる。</p>
9	社会資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> アイスブレーキング 社会資源について（講義） 佐世保の社会資源の検討（グループワーク） 	<p>復習：各グループで議論した佐世保の社会資源について、まとめる。</p>
10	レクリエーション(実技)	<ul style="list-style-type: none"> タグラグビー（グラウンドにて実技） タグラグビーについて（レポート課題） 	<p>予習：タグラグビーについて調べてくる。</p> <p>復習：タグラグビーについてレポートにまとめる。</p>
11	グループレクリエーション活動援助(1)	<ul style="list-style-type: none"> アイスブレーキング レクリエーション活動援助のプロセスについて（講義） 	<p>復習：レクリエーション活動援助のプロセスについて把握する。</p>
12	グループレクリエーション活動援助(2)	<ul style="list-style-type: none"> アイスブレーキング レクリエーション活動援助計画作成①（グループワーク） 	<p>復習：レクリエーション活動援助のプロセスについて把握する。</p>
13	グループレクリエーション活動援助(3)	<ul style="list-style-type: none"> レクリエーション活動援助計画作成②（グループワーク） 	<p>復習：グループレクリエーション活動援助のプランニング（計画）を完成させる。</p>
14	グループレクリエーション活動援助(4)	<ul style="list-style-type: none"> レクリエーション活動援助実施（グループワーク） 	<p>復習：各グループで実施したグループレクリエーション活動援助について評価を行う。</p>
15	レクリエーション(実技)	<ul style="list-style-type: none"> ユニホッケー（体育館にて実技） 	<p>予習：ユニホッケーについて調べてくる。</p>
16	定期試験	筆記試験	配布資料の確認。